

僕の頭の中はまた真っ白になった

草や木が、とてもやさしく、甘く見える。

暗い、どんよりした冬がすぎ、  
もう本格的な春だ。

鴨川沿いに立つ僕の気持ちはさわやかだった。

まわりは誰もいない。

水辺に、白い水鳥が群がっている。

「ああ、なんてきれいな春の日なんだ。

なんと美しい世界なんだ！」  
と僕は感嘆した。

そのまま、川沿いを歩いて、  
七条京阪から、大阪行きの急行に乗った。

僕は、ドアにもたれて、ずっと外の景色に見とれていた。

電車の中は人が比較的多かったが、伏見稲荷の駅で、  
ドアのそばの席で、降りる人がいて、座れた。

座ると、自分が風邪ぎみなのを思い出し、  
疲れがどっと出てきた。

そのまま、うとうととした。

電車は、深草を過ぎ、丹波橋の駅に近づいた。